

令和2年度宮城高等歯科衛生士学院学校関係者評価概要報告

I 学校運営方針

宮城高等歯科衛生士学院の教育理念である、高度な専門能力・自ら課題を創造する・思いやりと社会性を持ったヘルスプロモーションの担い手として医療機関・施設・行政において、必要とされる各業務に適応できる人材を育成する。3年制課程をさらに充実させ、新たな改革と発展を目指し、教職員の意識改革・自己研鑽に努める。加えて、高度な視点から多様化した歯科保健医療を捉えた質の高い歯科衛生士として国民の新たなニーズに応えてまいります。

II 重点目標

- (1) 基本的な医学知識を備えた行動
- (2) 生涯研修と自己啓発の意識
- (3) 歯科衛生ケアプロセスの実践
- (4) 対人サービスと社会性、コミュニケーション
- (5) 研究活動の奨励、海外研修制度

III 学校関係者評価委員会の概要

<第1回>

- | | |
|---------|----------------------|
| (1) 日 時 | 令和2年7月28日(火) 午後6時～7時 |
| (2) 場 所 | 宮城県歯科医師会館 4階 会議室 |
| (3) 出席者 | 学校関係者評価委員<順不同>・・・5名 |
| | 児 玉 弘 子 (臨床実習協力施設代表) |
| | 五十嵐 薫 (連携校・実習協力校代表) |
| | 人 見 早 苗 (業界代表) |
| | 瀬 戸 克 而 (地域住民代表) |
| | 増 澤 優 (卒業生代表) 欠席 |
| | 本学院 |
| | 吉 田 直 人 (学院長) |
| | 上 原 忍 (副学院長) |
| | 枝 松 淳 二 (副学院長) |
| | 角 田 哲 (教務部長) |
| | 柴 崎 浩 一 (副教務部長) |

莊 司 伸 樹 (副教務部長)
佐 藤 陽 子 (教務主任)
堀 籠 謙 一 (事務長)

(4) 内 容

① 委嘱状交付

② 委員長選出 五十嵐 薫 委員

③ 報告

ア 令和元年度「学校評価」事業の経過について

イ 令和元年度の主な学校行事について

④ 協議

ア 令和元年度「自己評価」並びに「学校関係者評価」について

イ 令和2年度「学校評価」事業日程(案)について

(5) 主な質疑応答・

委 員：AO入試4回(I期、II期、III期、IV期)の違いはあるか。

学 院：特別な違いはない。多くの受験生が応募可能とした。

委 員：評価方法、評価点数の低い人事等についてはどうか。

学 院：評価については、4段階評価で役員、教職員全員で行い平均点により評価している。評価点数の低い人事等については、教職員の欠員による業務が多忙な状況があり低評価でる。現在教員を募集している。

委 員：学校運営にあたり学院としての長所・短所はなにか。

学 院：会立の学校のため、学校法人と違い、予算面で学院独自の執行が難しいところがある。大学化に向けて健闘を勧めたが、条件面と財源面で難しかった。会立としてのメリットである歯科医師会がバックアップする教育体制が備わっている。

委 員：退学者や悩みを抱える生徒への対応はどうか。

学 院：役員・教職員並びに臨床心理士によるカウンセラーを行いサポートに努めている。

委 員：学生アルバイトについて、未成年の学生が客引き等甘い誘惑に誘われる実態があるので、問題ないように指導してほしい。

委 員：学生アルバイトを規制していると思うが指導はどうか。

学 院：新型コロナウイルス感染防止対策を含めて、HP上で、県を跨ぐ外出3密の場所に近づかない、さらにはアルバイトを中止し感染防止に取り組んでいる。

委 員：退学者の理由は何か。

学 院：いろいろな理由がある。学力の低下もあるが、進路変更もある。学力面では、補講・再試験等を行いサポートに努めている。